



遊牧民の家「ゲル」の内部



心に響くホーミーとモリンホールの演奏



純朴な遊牧民の子どもたち



荒々しい大地のもとで暮らすモンゴルの人々

モンゴル国

新年特集

つて、どんな国？

【後編】

伊豆の国市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加するモンゴル国柔道ナショナルチームのホストタウンとなっています。1月号に続き、国際交流員のジャルガルが、モンゴルの食文化や伝統音楽などについて紹介します。

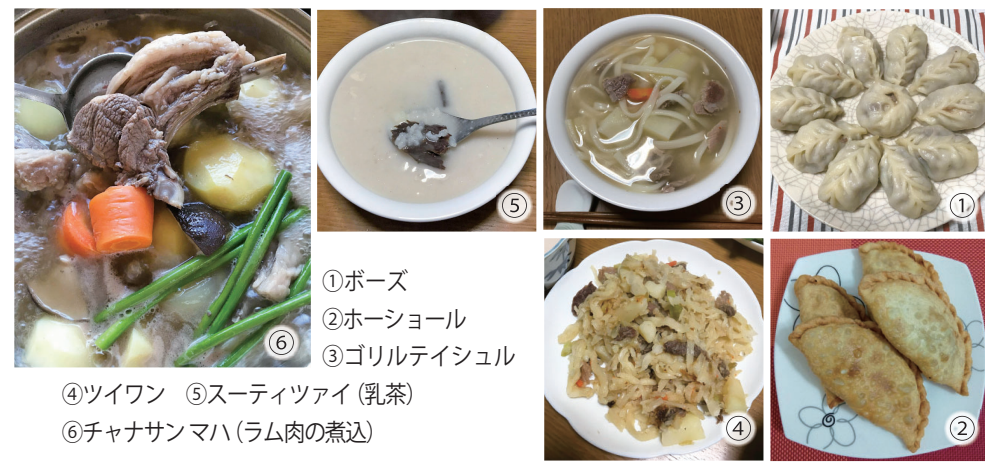
市長公室
055(948)1431

「食文化」

遊牧民の食事は、基本的に家畜からまかなわれています。主食は肉と乳製品で、初夏から秋にかけての生乳が豊富な時期は乳製品、晩秋から春にかけての生乳が期待できない時期は、肉類が食の中心となっています。それらに小麦粉料理が加わります。

モンゴルの食文化は、近年少しずつ変化してきています。

国内で消費される小麦は、自国で栽培されているため、小麦粉を使った料理は、現在ではごく当たり前になっています。小麦粉料理としてはポーズ（蒸し餃子）のほかホーシヨール（揚げ餃子）、バンシ（水餃子）、ゴリルティシュル（うどん）、ツイワン（焼きうどん）などがあります。味付けは、ほとんどが塩のみで、素材そのものをおいしく味わうようになってきているのが特徴と言えるかもしれません。



①ポーズ ②ホーシヨール ③ゴリルティシュル
④ツイワン ⑤スーティツアイ(乳茶) ⑥チャナサンマハ(ラム肉の煮込)

「伝統音楽」

ホーミー(モンゴル独特の唱法)

「ホーミー」とは、1人の人間が2つの音声と同時に発するという、モンゴル独特の歌唱法で、「喉歌」と呼ばれています。風や川の流れなど、自然の音を表現しているといわれています。

ホーミーができる人はモンゴル人でも限られており、ホーミー発祥の地であるモンゴル西部アルタイ山脈周辺の民族に歌い手が多くいます。

モリンホール(馬頭琴)

モンゴル民族を代表する最も有名な民族楽器で、棹の先に馬の頭が彫刻してあることから、モンゴル語ではモリン・ホール(馬の楽器)と呼ばれています。弓で弦をこすって音を出す擦弦楽器で、元々は馬のしっぽの毛や皮を使って作られていました。その起源は古く、バイオリンやチェロなどの原点かもしれないというロマンチックな説もあるほどです。

昨年1月8日、東京オリンピック・パラリンピック開催機運醸成事業として、アクシスカつらぎで「モンゴルと日本の架け橋コンサート」が開催され

ました。

その際、伊豆の国市を訪れた、世界を舞台に活躍するモンゴル民族音楽グループ「フスグトゥン」のメンバーで、モリンホール奏者のバトゾリグさんによるホーミーとモリンホールの演奏をQRコードからお聴きください。



QRコード

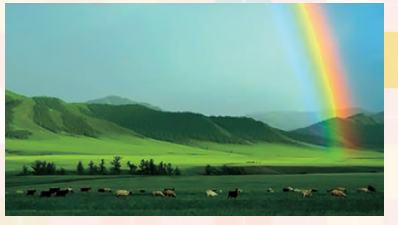
チャイナドレスのルーツ 民族衣装「デール」

チャイナドレスのルーツといわれているデールは、絹やナイロン製で、丈の長い立襟の上着です。裏地は、夏用には薄い布、冬用には子羊の毛皮が付いています。

地域・年齢・性別・未既婚などにより細かい違いがあるため、400種類以上のデールがあるとされています。



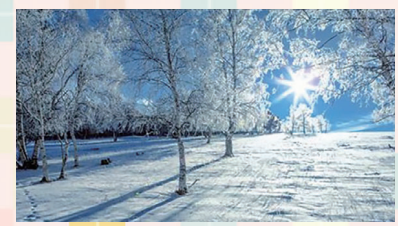
春 4月頃はまだ雪が降り、5月頃ようやく暖かくなってきます。



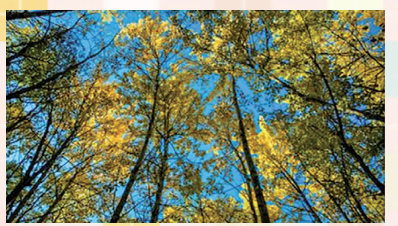
夏 6～8月にかけて気温が上がり、30度近くとなり、暑い日が続きます。

気温差70度。厳しい自然が織りなすモンゴルの四季

冬 氷点下20度前後が冬の平均気温ですが、氷点下40度まで下がることも。



秋 9月頃から寒くなり始め、時には吹雪くこともあります。



柔道、レスリング、サッカー、野球、バスケット、バレーなど、さまざまなスポーツで使える応援と励ましの言葉です。皆さんの応援をよろしくお願いします。



モンゴルで稽古を頑張っています！

がんばれ！ Хичээгээрэй！
 応援しているよ！ Дэмжж байгаа шүү！
 あなたなら大丈夫！ Чи чаднаа！
 よくやったね Сайн байлаа
 勇気を持って Зоригтой
 見せてくれ！ Үзүүлээд өг